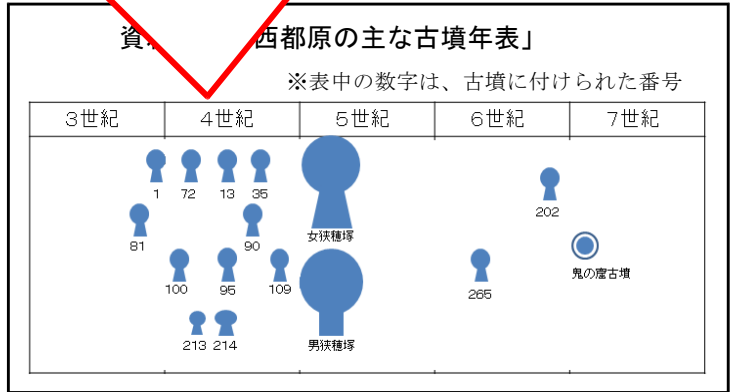


|      |      |   |
|------|------|---|
| 古墳時代 | ( )組 | 氏 |
|      | ( )番 | 名 |

1世紀は100年です。3世紀の終わりから7世紀のはじめまで、300年以上にわたって造られているといえます。

資料1 「西都原古墳群の古墳の数」

西都原古墳群には、前方後円墳が31基、円墳が279基、方墳が1基ある。



資料3 「九州最大の前方後円墳」

西都原古墳群にある「女狭穂塚」は、全長が176mもあり、九州最大の前方後円墳である。この古墳を造るために、もし、1日1000人が年間200日働いたとしても、約2年半もかかるという計算結果もある。



ゆきこ： 資料1を見ると、西都原古墳群には、300基以上の古墳があるんだね。どうして、こんなにたくさんあるんだろう。

りゅうせい： 昔、たくさんの豪族が西都原の周辺にいたからだと思うよ。古墳とは、豪族などのお墓だと言われているからね。

そうた： そうだね。それに、資料2を見ると、西都原では **ア** 年以上にわたる長い期間、古墳が造られていることも、きっと関係していると思うよ。

ゆきこ： 資料3を見ると、西都原には全長が176mもある、九州最大の前方後円墳もあるんだね。

りゅうせい： どうして、九州最大のこんなに大きな古墳が、西都原にあるのかな？

そうた： それは、 **イ** だと思うな。

(1) 上の会話文の **ア** に当てはまる **「大きな力をもった豪族」が西都原にいたことが書いてあれば正解です。** 番号を記入しよ  
う。

A : 200    **B : 300**    C : 400    D : 500

(2) 上の会話文の **イ** に入る、「大きな古墳が西都原にある **イ**」を考えて書き  
ましよう。

西都原の豪族は、すぐれた技術者を指図し、多くの人々を働かせることのできる大きな力をもっていたから。

りゅうせい：西都原考古博物館の人の話によると、「女狭穂塚」と、その隣の「男狭穂塚」は、どちらも九州最大級の古墳なのだけれど、立ち入りがきびしく制限されていて、自由に調査を行ったりすることができないらしいよ。

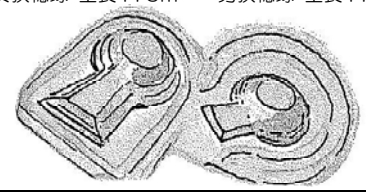
先生：そうですね。地中レーダーによる調査は許されたので、この2つの古墳なのですが、①地面をほったりする調

このような様子を調べれば、その人物の力の大きさを推測できます。

(3)

ると、この古墳にまいそうされた人物の力の大きさを推測するためには、どのようなことを調べるとよいかを書きましょう。

めさほづか 全長176m おさほづか 全長176m  
女狭穂塚 全長176m 男狭穂塚 全長176m



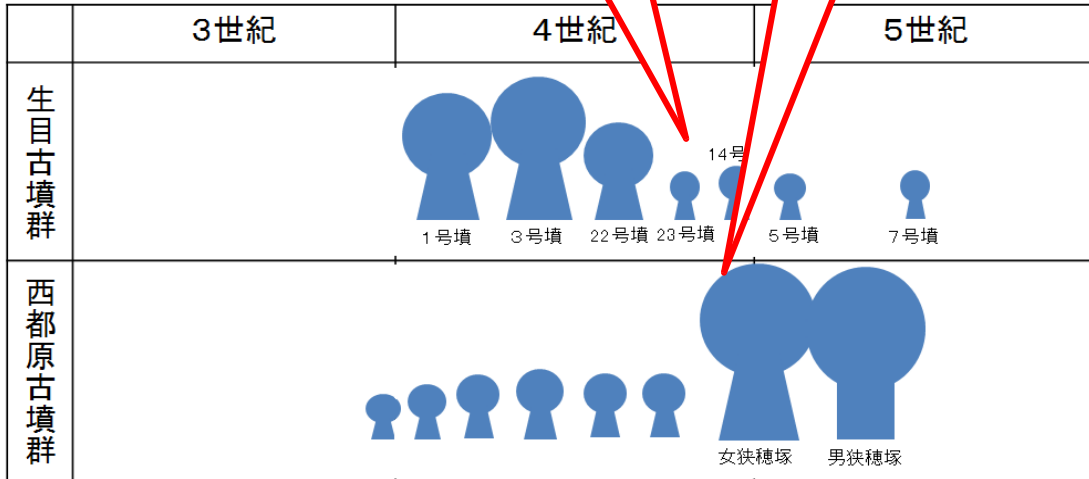
石室の内部の様子や出土品。はにわの種類や数など。

先生：みなさんは、宮崎市にも生目古墳群というのがあるのを知っていますか。この生目古墳群には、「1号墳」「2号墳」「3号墳」「4号墳」「5号墳」「7号墳」があります。資料4は、生目古墳群の古墳の大きさの推移を表した年表です。

古墳の大きさが小さくなっている。

古墳の大きさが、大きくなっている。

資料4 「生目古墳群と西都原古墳群の前方後円墳の大きさの推移表」



※宮崎市生目古墳群設置の説明板を参考に作成

(4) 資料4を見ると、西都原に九州最大の前方後円墳が造られた時期に、生目古墳群の前方後円墳は小さくなっています。

このことから、「生目の豪族の力」と「西都の豪族の力」がどのように変化していったと想像できるか考えて書きましょう。

前方後円墳の大きさは豪族の力の大きさを示していると考えられるので、4世紀のはじめは生目の豪族の力が大きかったが、4世紀の終わり頃には、しだいに小さくなり、かわって西都の豪族の力が大きくなったのではないかと考えられます。